

ロジックモデル作成イメージ

資料1-2

ロジックモデルの凡例

※ロジックモデルの凡例及び参考の記載例については、あくまで抽象的なイメージとして参考に示すもの

現状把握 ・課題設定	インプット (資源)	アクティビティ (活動)	アウトプット (活動目標・実績)	アウトカム (成果目標・実績)	インパクト (国民・社会への影響)
事業を行う背景(現状)、解決すべき問題・課題	事業実施のために投入する予算等	実施する事業の内容	事業の活動目標・実績	事業活動を通じて得られる成果目標・実績。必要に応じて、事業活動の波及効果の時間軸に沿って、短期・中期・長期などと区分できる ※短期アウトカムは事業活動を通じて期待される短期的成果、中期・長期アウトカムはそれぞれ短期的成果・中期的成果の後に波及的に期待される成果を言う	事業活動を通じて実現すべき最終目的

(参考)「地域活性化のための●●交付金」のロジックモデルの例

現状把握 ・課題設定	インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム			インパクト
<p>●●地域においては少子高齢化等のため、人口が減少(H●●→R●●: ●●万人→●●万人)</p> <p>●●地域の地域活性化のため●●関連産業の付加価値の向上が必要</p>	<p>予算: ●●百万円</p>	<p>①●●に関する施設整備</p> <p>②●●の商品化支援</p>	<p>①整備した●●施設数</p> <p>②●●の商品化支援を実施した地域数</p>	<p>【短期】</p> <p>①整備した●●施設の活用(稼働率の向上)</p> <p>②取組を実施した地域における●●の商品化及び●●を扱う店舗等の増加</p>	<p>【中期】</p> <p>①●●施設を整備した地域の交流人口増加</p> <p>②取組を実施した地域のうち、売上高等の増加</p>	<p>【長期】</p> <p>取組地域における関連産業の付加価値・雇用者数等の増加</p>	<p>地域活性化の実現</p>